

# 地域協働学校だより No.9

令和5年3月1日  
新宿区立市谷小学校  
地域協働学校運営協議会

「地域協働学校運営協議会」からのご報告です。



## 【活動報告】

今年度も残すところあと僅かとなりました。昨年度に続きコロナ禍ではありますが、以前のような学習活動や行事をすこずつ再開することができるようになってきました。まだ感染が完全に収まっていないため、引き続き先生方の注意深い環境整備や保護者の方々のご協力をいただきながらではありますが、より活動的な教育が進められています。徐々に教育環境が向上しており、皆様には感謝するとともに、市谷小学校関係者の皆さん全員が健康に新年度を迎えられることを願っています。

地域協働学校運営協議会の支援活動、授業見学等について、一年の活動をご報告いたします。

### ○意見交換、学習支援活動

- 学校評価について ● 児童の安全（登下校時の見守り等）と防犯、災害対策について
- 「あいさつ」について ● コロナ対応について
- 総合的な学習やその他の活動の支援：地域人材の紹介および折衝、活動への支援・参加（安全マップづくり、町たんけん、風呂敷教室、金管バンド指導員紹介など）
- 環境・読書活動支援（みどりのボランティア、図書ボランティア）

### ○授業見学・たよりでのご紹介等

- 学年別運動会 ● セーフティ教室 ● 社明パレード ● 2年町たんけん ● 3年安全マップ
- 3年風呂敷教室 ● 音楽会 ● 6年模擬選挙 ● 6年服のチカラプロジェクト ● 3年コマ回し
- PTA 謎解き ● みどりのボランティアと委員の植替え ● 5年一中授業体験 ● 4年手話体験授業 など

以上のような意見交換・授業見学等のほかに、毎月、校長先生より学習や行事での子どもたちの様子や教育現場を取り巻く問題や変化についても伺いました。これらのお便りを通して学校のこと、児童のことで、地域が学校と児童のためにできることを少しでもお伝えすることが出来ていれば幸いです。より良い学びの環境をつくる事が出来るよう、今後も地域協働学校にご協力をお願いいたします。

市谷小のホームページには地域協働学校だよりのバックナンバーを載せていますので、ぜひご覧ください。

[https://www.shinjuku.ed.jp/es-ichigaya/kyoudou\\_main1.html](https://www.shinjuku.ed.jp/es-ichigaya/kyoudou_main1.html)



## ♪ 一中の先生による出前授業（5年） 🎲 🎲

2月15日（水）牛込第一中学校の先生が、学区内の牛込仲之小学校、余丁町小学校、市谷小学校を訪問し、特別授業をしてくださいました。本校には音楽の和田先生、数学の野村先生が来校され、5年生に授業をしてくださいました。

### ○音楽

「夢の世界を」の歌唱指導をしていただきました。和田先生のピアノ伴奏に合わせパートごとに繰り返し練習し、その後全員で通しの合唱を行いました。その時、各自タブレットで自分が歌っている様子を撮影しました。残念ながら時間となってしまう、動画を見て自分の声や問題点を確認することはできませんでしたが、さながら個人指導のようでした。

### ○数学

確率の授業をしていただきました。計算で求めた割合が本当に合っているのかを、実際にサイコロを使って実験を行い、検証しました。その時使用したサイコロは、なんと野村先生のお手製！しかも児童全員分です。野村先生の事前準備には頭が下がります。

授業後に市谷小学校の先生と意見交換が行われました。コロナ禍で中断していた小中連携が復活し、嬉しい限りです。今後の発展、充実が期待されます。



## 👏 手話体験授業（4年） 👏

2月21日（火）新宿区社会福祉協議会から秋山さん、白戸さんが来校され、4年生に手話体験授業を行ってくださいました。教室前方の秋山さんの手話を後方の白戸さんが声で通訳してくださいました。児童の質問には、白戸さんが手話で秋山さんに伝える形で行われました。

### ○ろうあ者との意思疎通の手段

筆談、メール、口話（唇を読み取る）、空文字、手話などがあることがわかりました。手話は相手の表情も読み取れるので、意思疎通の方法として最良だそうです。また、全盲者、ろうあ者間では手の中で手話をする方法などもあるそうです。

### ○ろうあ者の運転について

自転車、オートバイ、自動車の運転が認められています。航空機の操縦は、アメリカではセスナのパイロットがいますが、日本ではパイロットはいないようです。

### ○日常生活

ろうあ者と健常者を見分けるのは難しいため、レジなどでコミュニケーションを取る必要がある時は、優しく肩をたたくなどして合図するといわれています。

様々なハンデを持つ方たちがいますが、特別な存在ではありません。隣にいる友達と同じように思いやりのある優しい気持ちで接し、相手を正しく理解するよう心掛け、どんな人にも居心地のいい世の中になるようにしていきましょう。

